

この取組は、キリン福祉財団《子育て》公募事業助成により実施しています。

# みんなを支える！ “産後うつ”シンポジウム

産後うつは、産後女性の10～15%が産後うつにかかるといわれるほどに、よく見られる病気の一つに挙げられるようになりました。しかし産後うつという言葉は一般的にはまだまだ知られていません。母親本人も父親を含む周囲の人間も、知らないままにしていることによって、事態の深刻さに気がつくことに遅れることがあります。今回のシンポジウムを通じ、産後うつの知識を正しく知ってもらいたいと思います。そして、産後うつの経験者やパートナーの声を聞きながら、母親自身が自ら周囲にSOSを投げかけ、周囲にいるものも、母親をサポートする体制をつくるきっかけにしていきたいと考えます。



参加費  
**無料**

2011年  
**11月3日(木・祝)**  
**14:00-16:30**

場 所：大阪市立子育て  
いろいろ  
相談センター

<http://www.osaka-kosodate.net/>

定 員：**50名**

一時保育付(無料)  
対象：3ヵ月～小学校低学年  
※一時保育申し込み締め切り  
10月20日(木)まで

主な対象者：

これから出産を控えている夫婦／子育て中の方／  
産後うつに関心のある方

14:00～14:50

第1部 講演会

「“産後うつ”ってどうなるの？  
～産後うつの体験から学ぶ～」

講 師：須藤弘美氏  
(ママブルーネットワーク)

15:00～16:30

第2部 シンポジウム

「“産後うつ”のママを共に  
支えるためには？」

シンポジウム登壇者：

須藤弘美氏 (ママブルーネットワーク)

三輪寿江氏 (大阪府助産師会)

榎 英直氏 (ファザリングジャパン関西メンバー)

鵜飼幸子氏 (保育ランドおあふ)

コーディネーター：小崎恭弘氏  
(神戸常盤大学短期大学部准教授)

共催：特定非営利活動法人 関西子ども文化協会・ファザリングジャパン関西・  
大阪市社会福祉協議会 (大阪市立子育ていろいろ相談センター)・保育ランドおあふ  
協力：(社)大阪府助産師会 後援：大阪府・大阪市

